

10-DAY ONLY GLASS ART SPACE
IN TAKAGAMINE, KYOTO

10.23 — 11.1

鑑賞無料

最終日は17:00まで

本阿彌 匠 硝子インスタレーション

水底から湧き立つ、無数の記憶。

琳派の美意識が息づく京都・鷹峯。山々の移ろいや清らかな光を透過する硝子作品が、来訪者を最初に迎えるエントランスで、自然と空間に響き合います。「記械」は、自らの内にある時間や記憶を整理し、かたちにする仕組みを想像した本阿彌氏の造語。幾重にも折り重なり水面へ積み重なる記憶の断片を、硝子で表現します。永遠に色褪せないものと、かたちを崩し失われていくもの。その混在する情景をご覧ください。

展示概要

2026年10月23日（金）～11月1日（日）
最終日は17:00まで

ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts
エントランスエリア（パブリックエリア）

京都市北区衣笠鏡石町44-1

料金

鑑賞無料

数量限定・事前予約制

お茶席「記憶の茶」

本阿彌氏の器・茶器で味わうお茶と、この
インスタレーションのために仕立てたお菓子
（都本舗 光悦堂）。

開催日

10月26日（月）・27日（火）
29日（木）・30日（金）

時間・定員

14:00～14:45 ／ 15:00～15:45
各回10名様まで

4,000円（税サ込）

お茶席のご予約は 10月20日（火）14:00 より受付開始

お茶席を予約する

硝子作家 本阿彌 匠 ほんあみ たくみ

本阿弥光悦から数えて直系17代目。東京ガラス工芸研究所での修行を経て、2000年に千葉県千倉町で吹きガラス工房「GLASS FISH」を設立。先祖の「写し」とどまらず、現代ならではの表現を追求し、未来へつなげる新たな文化の「起点」となる作品を生み出し続けています。